事例No.	1448
公表年度	R3
団体の属性	町村
団体名	鳥取県琴浦町

事例区分	一般行政

タグ	・公共施設活用 ・新たな政策手法の確立・活用 ・税財政

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

木育教育の実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

鳥取県　琴浦町（木育教育の実施）

- 琴浦町では、森林環境譲与税を活用した森林経営管理の意向調査を行うとともに、森林の大切さ等を伝える木育教育を推進する方針。
- 令和元年度は、意向調査を行った。令和２年度においては、意向調査に加え、集積計画の作成、木育教育の取組を実施。
  ・小学校児童に学校の授業、放課後児童クラブで計３回の木育教育を実施。スライドを使い、世界・鳥取県の森林の大切さや、身近にある木の話を行うほか、こま、木のロボット（ロボキー）、積み木のストラップなど木を使った物作り、木のおもちゃ「木ころん」「つみぼぼ」を使った遊びの紹介など、森林や木材の良さを知る機会の提供を行った。
- 令和３年度においても、引き続き意向調査と集積計画の作成を行うとともに、木育教育も実施する予定。

□　事業内容

木育教育実施委託業務

- 町内の小学校等で、森林の大切さや木の素晴らしさを等を伝える木育教育を委託。
- 森と環境の話、こまづくり、ロボキーの紙芝居、積み木のストラップ作りなどを実施。

【事　業　費】129千円（全額譲与税）

【実　　績】木育教育３回実施（小学校授業、放課後児童クラブ）
延べ参加者数99名



（小学校で木育教育）



（木のおもちゃに触れる児童）

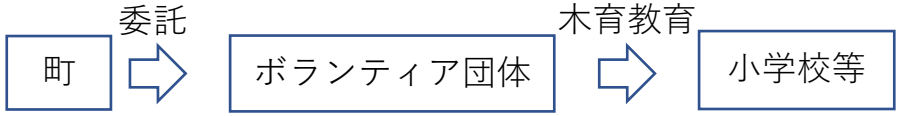




（←↑コマ作り）

□　事業スキーム

木育教育の委託



□　工夫・留意した点

- 切り株や葉っぱを直接触る機会を設けることで、重さ、匂い、食感を体験してもらい記憶に残るよう工夫した。
- 事業の導入に紙芝居の読み聞かせを行うことで、話の内容に集中してもらえるようにした。
- 様々な児童の性格を考慮し、声かけなど適宜行った。
- マスク着用、除菌、換気に注意を払い感染対策を行った。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	９，９３４千円
②私有林人工林面積（※１）	２，９２７ha
③林野率（※２）	６３％
④人口（※３）	１７，４１６人
⑤林業就業者数（※３）	１４人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より